

(倫理様式 2-2-1)

回復期リハビリテーション病棟における ADL 自立度合同評価の妥当性を検討 ～自立後に転倒した患者の分析～

1. 研究の対象

2020 年 4 月から 2026 年 3 月までに当院回復期リハ病棟を ADL 動作自立とな
って退院した脳卒中患者 1102 名

2. 研究目的・方法

当院回復期リハビリテーション病棟では、ADL 動作自立後の転倒防止を目的に、
2009 年より理学療法士、作業療法士、看護師の 3 職種が各々、患者の自立対象とな
る ADL 動作が安定しているかを数日間継続して観察し、最終的に合同で自立度を評
価しています。今回、自立判定後に転倒した患者の状況を分析し、合同評価の妥当性
を検討します。方法は臨床で得たデータで構築したデータベースを収集し、分析しま
す。分析する項目は、年齢、性別、疾患、麻痺側、転床・入院日、部屋移動日、退院
日、歩行自立日、車椅子自立日、転倒日、入院期間、入院から自立までの日数、自立
から転倒までの日数、部屋移動回数、最終転床から転倒日までの日数、病棟での移動
手段、歩行補助具、転倒場所、転倒時行動、転倒要因、時間帯としました。

これらの研究は 2026 年 4 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報 等

※個人が特定される情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理
人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所美原記念病院

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L：0270-24-3355 F A X：0270-24-3359

研究責任者：リハビリテーション部・小澤一仁